



江戸時代には宿場町として、にぎわった永明地区駒形町。今回はその面影と現在の様子を訪ねるコースです。山王町二丁目南端の前橋東郵便局から永明地区に入り、伊勢崎市との境に近い駒形神社まで、片道2きほどを歩いてみましょう。



駒形神社

南東へ向って歩くと、県道藤岡・大胡線との交差点に着きます。周辺には酒蔵が数軒ありましたが、現在は町田酒造店がその名残を今に伝えるのみです。道路が広がり、整備されたために昔の雰囲気は薄れたものの、見通しが良くなりました。

宿場町の名残を訪ねて

前橋ウォーカー Maebashi Walker

永明地区



町田酒造店

た。さらに南東へ歩き続けて、北関東自動車道の下をくぐり抜けます。高架下には緑道が整備され、ベンチでひと休みすることもできます。

次は西へ歩き、通称「ぼっくり観音」と呼ばれる駒形長寿観音堂へ。昭和48年、駒形町の住民が奈良県から長寿観音の分霊を安置した観音様は、高齢社会の進展で評判が広まっているようです。「家族に迷惑を掛けず、安らかに人生を終えたい」と願う参拝者が県内外から訪れます。最後は駒形神社へ。東へ向い県道駒形・柴町線を過ぎ、歩き続けると境内に着きます。大きな木立の緑に抱かれた本殿には見事な彫刻も。町の歴史を見守り続けてきた社にたたずめば、すぐ近くの北関東自動車道を高速で走る車の音も聞こえない静寂に包まれます。宿場町の歴史を訪ねる手軽な散歩道。あなたも歩いてみませんか。

健康な歯でいつまでも元気な生活を



母と子の良い歯のコンクールで最優秀賞

阿由葉 亜矢子さん・38歳
碧里ちゃん・3歳
青葉町

母と子の良い歯のコンクールで市内2, 732組の中から、最も美しく健康な歯を持つ親子に選ばれた。3歳児健診を受けた親子が対象で、歯磨きなど日ごろのケアがきちんとできているかなどを歯科医師が審査する。

「私が小学生の時にも、良い歯のコンクールで最優秀賞になったことがあります。今回は親子での受賞となりました。夫も大喜びで、自慢の家族だなんて言っているんですよ」

毎日3回の歯磨きを欠かさない。さらにバランスのよい食事を取ることが、健康な歯を保つ秘訣だという。

「正しい食生活を続けることが大切だと思います。子どもも好き嫌いなく何でも食べますね。歯だけでなく健康で丈夫な体を作らないと」

碧里ちゃんの歯は、亜矢子さんが仕上げ磨きをしている。歯が生え始めたところからの習慣づけで、食後は自分から歯磨きできるようになった。歌を歌いながら、楽しく一緒にブラッシングしている。

「保育園でも自分でちゃんと歯を磨いているよ」と笑顔で話す碧里ちゃん。キャラクターの絵が入った歯ブラシとイチゴ味の歯磨き粉がお気に入りだ。

「68歳になる私の父もむし歯がありません。毎日しっかり噛んで食事をしてるので若々しく元気。小さい頃から歯を大切にする習慣を覚えてくれた両親に感謝し、自分の子どもにも伝えなくてはと思っています」

7月12日には県のコンクールに出場する。これからも歯を大切に、家族みんなが健康な毎日を送ってほしい。



チームワークで優勝目指す

6月17日、宮城体育館で開催されたソフトバレーボール親善交流大会に37チーム200人が参加。年代ごとに分かれて熱戦を繰り広げました。どのチームもチームワークを生かしてボールをつなぎ、ラリーの応酬に。好プレーの連続に拍手と声援が飛びました。



自分の目で安心確かめて

消費生活センターでは、自分が食べるために市内で栽培・採取した物を対象に、放射性物質測定を行っています。家庭菜園で栽培した野菜を持ち込んだ親子は、不検出の結果に「安心しました」とにっこり。測定結果は本市ホームページで公表しています。



楽しい触れ合いの時間

中央公民館では6月7日と18日の2回で、はぐはぐサロンを開催しました。2歳までの子どもとその親が、ベビーダンスやハーブなどを使った虫除けスプレー作りを体験。親子の絆を深めながら、子育てに励む仲間と楽しく交流していました。



大室公園で古代の世界を探検

6月10日に、大室古墳群公開イベント「☆たんけん☆大室古墳王国」を開催しました。古墳めぐりスタンプラリーや古代体験コーナーなど楽しい催しがいっぱい。勾玉づくりや火おこしなど初めての体験に、子どもたちは目を輝かせて夢中で取り組んでいました。